

資料 3

平成27年度第1回福岡市食育推進会議  
H27.9.2

第2次 福岡市食育推進計画  
成果指標別 分析シート



## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】

指標		関係局 特に関係の深い局を記載しています	
指標の考え方			
成果指標データの推移		作成時の値	直近の値
	出典		目標値
成果指標データの推移の分析 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	<p>・指標データのもとになっている調査や、年代別・性別など詳細データなどについて記載しています。</p>		
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<p><b>市政アンケート</b></p> <p>(1)目的 ①福岡市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。 ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。</p> <p>(2)調査対象者 福岡市に居住する満20歳以上の男女約600人</p> <p>(3)選考方法 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼</p> <p>(4)調査方法</p>		

・成果指標の達成につながる(行政関係の)事業や取組みについて記載しています。

指標と年次推移グラフ

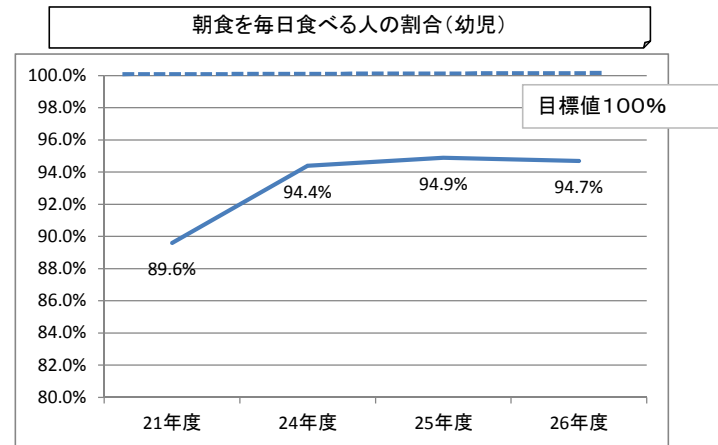
・成果指標の年次推移と目標値をグラフで示しています。

## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	朝食を毎日食べる人の割合 幼児			関係局 こども未来局, 保健福祉局, 各区役所
<b>指標の考え方</b>	健康的な生活リズムや生活習慣を確立するために、朝食を毎日食べる割合の増加を目標とする。			
成果指標データの推移	作成時の値		直近の値	目標値
	89.6%		94.7%	100%
出典	平成21年度幼児(3歳児)の生活習慣調査(健康づくり財団)		26年度 3歳児健康診査	
成果指標データの推移の分析	作成時に比べ増加。 目標値は達成していないが近づいている。 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。) おおよそ95%で推移。			
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	年度	%	調査数	調査方法
	16年度	82.9%	2,744	} 幼児の生活習慣調査
	21年度	89.6%	2,711	
	24年度	94.4%	1,548	3歳児健診で聞き取りを実施
	25年度	94.9%	13,684	3歳児健診の保護者記入アンケート集計
	26年度	94.7%	13,720	
<b>【設問と集計回答】</b>				
21年度	毎日朝食を食べていますか(用紙)→食べている			
24年度	毎日朝食を食べていますか(聞き取り)→食べている			
25・26年度	1日3回の食事は規則正しく食べていますか(用紙)→はい			

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・離乳食教室(各区健康課)
- ・離乳食指導(各区健康課)
- ・子育てサロン、サークル等での母子教育(各区地域保健福祉課)
- ・乳幼児ふれあい学級, 家庭教育学級, 子どもの健全育成関連事業(公民館)
- ・早寝早起き朝ごはん事業(東区健康課)
  
- ・子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業(南区地域保健福祉課)
- ・子どもプラザでの食育相談会(中央区健康課・城南区健康課)
- ・3歳児健診時のエプロンシアター(城南区健康課)
- ・元気でいただきます 幼児期の食生活冊子作成(城南区健康課 24年度)
- ・元気でいただきます食育講習会(城南区健康課)
- ・ヤングウ〜ママ☆集まれ (西区地域保健福祉課 平成23.24年度)
- ・乳幼児保護者対象出前講座(西区健康課・地域保健福祉課)
- ・子育て支援事業(子ども未来局指導監査課)
- ・親子食育講座(健康づくり財団 平成23・24年度)
- ・東区食育ホームページ(東区健康課 26年度)
- ・サザエさん通り誕生記念! 食育レシピ作成(早良区健康課 26年度)

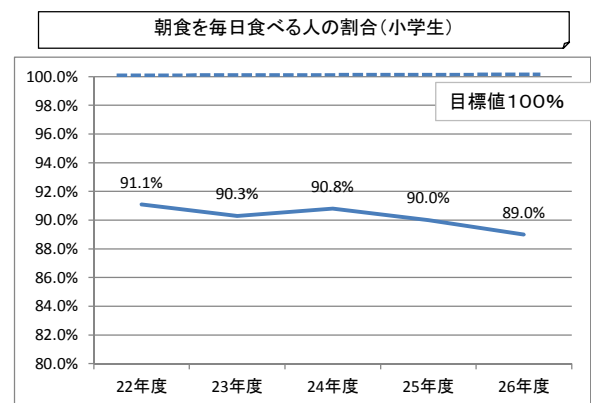


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	朝食を毎日食べる人の割合 小学生	関係局	教育委員会、各区役所																																																																					
<b>指標の考え方</b>	健康的な生活リズムや生活習慣を確立するために、朝食を毎日食べる割合の増加を目標とする。																																																																							
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																																																																					
	91.1%	89.0%	100%																																																																					
出典	平成22年教育委員会「朝食喫食調査」平成26年教育委員会「朝食喫食調査」 栄養教諭配置校の2～6年生を対象に調査																																																																							
成果指標データの推移の分析 <small>(作成時の値に対してどのような動きになっているか、現時点での目標の達成状況。)</small>	作成時と比べ変化なし																																																																							
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">16年度</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">81.2%</td> <td style="width: 80%;">一次計画作成時の現状値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19年度</td> <td style="text-align: center;">90.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20年度</td> <td style="text-align: center;">89.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">21年度</td> <td style="text-align: center;">90.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">22年度</td> <td style="text-align: center;">91.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23年度</td> <td style="text-align: center;">90.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td style="text-align: center;">90.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">90.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26年度</td> <td style="text-align: center;">89.0%</td> <td></td> </tr> </table> <p>一次計画作成時と比較すると目標値に近づいているが、19年度に90%になってからは変化なし。</p> <p><b>【参考】学年別の年度推移</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小2</td> <td>91.0</td> <td>91.7</td> <td>90.9</td> <td>91.9</td> <td>90.6</td> </tr> <tr> <td>小3</td> <td>91.6</td> <td>92.9</td> <td>91.3</td> <td>89.5</td> <td>90.5</td> </tr> <tr> <td>小4</td> <td>91.7</td> <td>90.5</td> <td>90.8</td> <td>92.4</td> <td>89.9</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>90.5</td> <td>91.2</td> <td>90.3</td> <td>91.4</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>小6</td> <td>89.2</td> <td>89.4</td> <td>88.3</td> <td>88.9</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td><b>全体</b></td> <td><b>90.8</b></td> <td><b>91.1</b></td> <td><b>90.3</b></td> <td><b>90.8</b></td> <td><b>90.0</b></td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; font-size: small;">全体より下 全体より上</p> <p>学年別にみると、すべての年度で6年生が最も低くなっている。</p>			16年度	81.2%	一次計画作成時の現状値	19年度	90.0%		20年度	89.9%		21年度	90.8%		22年度	91.1%		23年度	90.3%		24年度	90.8%		25年度	90.0%		26年度	89.0%			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	小2	91.0	91.7	90.9	91.9	90.6	小3	91.6	92.9	91.3	89.5	90.5	小4	91.7	90.5	90.8	92.4	89.9	小5	90.5	91.2	90.3	91.4	90.0	小6	89.2	89.4	88.3	88.9	89.1	<b>全体</b>	<b>90.8</b>	<b>91.1</b>	<b>90.3</b>	<b>90.8</b>	<b>90.0</b>
16年度	81.2%	一次計画作成時の現状値																																																																						
19年度	90.0%																																																																							
20年度	89.9%																																																																							
21年度	90.8%																																																																							
22年度	91.1%																																																																							
23年度	90.3%																																																																							
24年度	90.8%																																																																							
25年度	90.0%																																																																							
26年度	89.0%																																																																							
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																																																			
小2	91.0	91.7	90.9	91.9	90.6																																																																			
小3	91.6	92.9	91.3	89.5	90.5																																																																			
小4	91.7	90.5	90.8	92.4	89.9																																																																			
小5	90.5	91.2	90.3	91.4	90.0																																																																			
小6	89.2	89.4	88.3	88.9	89.1																																																																			
<b>全体</b>	<b>90.8</b>	<b>91.1</b>	<b>90.3</b>	<b>90.8</b>	<b>90.0</b>																																																																			

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・親子の料理教室(各区健康課)
- ・「みんなで食育」冊子の小学校への配布(南区健康課 平成23年度)
- ・子ども料理教室(西区健康課)
- ・保護者向け料理教室(西区健康課)
- ・朝食喫食状況調査と結果の分析(教育委員会)
- ・保護者向け料理講習会(教育委員会)
- ・親子食育教室(博多区健康課 平成23年度)
- ・小児生活習慣病予防教室(健康づくり財団 平成23・24年度)

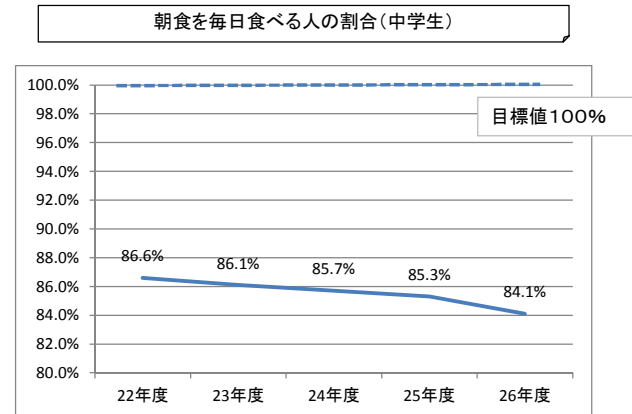


## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b>	朝食を毎日食べる人の割合 中学生	関係局	教育委員会																																																															
<b>指標の考え方</b>	健康的な生活リズムや生活習慣を確立するために、朝食を毎日食べる割合の増加を目標とする。																																																																	
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																																																															
	86.6%	84.1%	100%																																																															
出典	平成22年教育委員会「朝食喫食調査」平成26年教育委員会「朝食喫食調査」 栄養教諭配置校の1～3年生を対象に調査																																																																	
成果指標データの推移の分析 <small>(作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)</small>	作成時と比べほとんど変化なし																																																																	
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">16年度</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">77.9%</td> <td style="width: 80%;">一次計画作成時の現状値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19年度</td> <td style="text-align: center;">82.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20年度</td> <td style="text-align: center;">84.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">21年度</td> <td style="text-align: center;">84.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">22年度</td> <td style="text-align: center;">86.6%</td> <td>二次計画作成時の現状値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23年度</td> <td style="text-align: center;">86.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td style="text-align: center;">85.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">85.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26年度</td> <td style="text-align: center;">84.1%</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">一次計画作成時と比較するとよくなっているが、22年度をピークに下降傾向。</p> <p>【参考】学年別の年度推移</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(参考)小6</td> <td>89.2</td> <td>89.4</td> <td>88.3</td> <td>88.9</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>88.5</td> <td>88.4</td> <td>87.3</td> <td>85.9</td> <td>87.8</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>83.2</td> <td>86.4</td> <td>86.2</td> <td>86.6</td> <td>83.4</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>81.9</td> <td>85.2</td> <td>84.7</td> <td>84.4</td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>84.5</td> <td>86.6</td> <td>86.1</td> <td>85.7</td> <td>85.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">学年が上がるごとに喫食率が下がる傾向は、すべての年度で見られる。</p>			16年度	77.9%	一次計画作成時の現状値	19年度	82.3%		20年度	84.6%		21年度	84.5%		22年度	86.6%	二次計画作成時の現状値	23年度	86.1%		24年度	85.7%		25年度	85.3%		26年度	84.1%			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	(参考)小6	89.2	89.4	88.3	88.9	89.1	中1	88.5	88.4	87.3	85.9	87.8	中2	83.2	86.4	86.2	86.6	83.4	中3	81.9	85.2	84.7	84.4	84.8	全体	84.5	86.6	86.1	85.7	85.3
16年度	77.9%	一次計画作成時の現状値																																																																
19年度	82.3%																																																																	
20年度	84.6%																																																																	
21年度	84.5%																																																																	
22年度	86.6%	二次計画作成時の現状値																																																																
23年度	86.1%																																																																	
24年度	85.7%																																																																	
25年度	85.3%																																																																	
26年度	84.1%																																																																	
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																																													
(参考)小6	89.2	89.4	88.3	88.9	89.1																																																													
中1	88.5	88.4	87.3	85.9	87.8																																																													
中2	83.2	86.4	86.2	86.6	83.4																																																													
中3	81.9	85.2	84.7	84.4	84.8																																																													
全体	84.5	86.6	86.1	85.7	85.3																																																													

・朝食喫食状況調査と結果の分析(教育委員会)

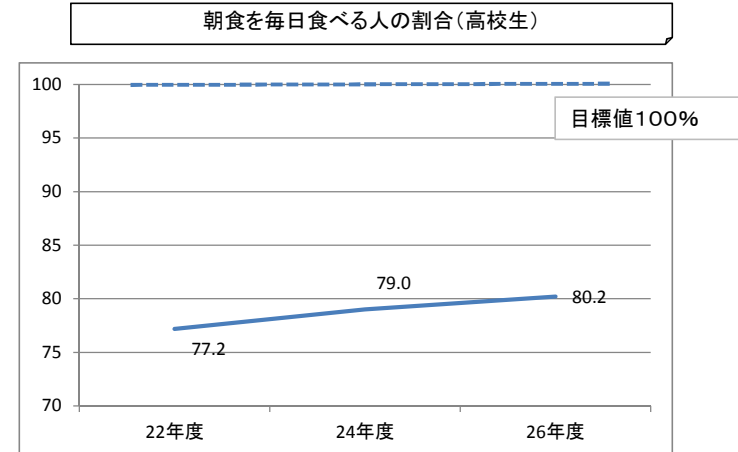


## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b>	朝食を毎日食べる人の割合 高校生	<b>関係局</b>	教育委員会, 保健福祉局																								
<b>指標の考え方</b>	健康的な生活リズムや生活習慣を確立するために、朝食を毎日食べる割合の増加を目標とする。																										
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																								
	77.2%	80.2%	100%																								
出典	平成22年福岡市立高校4校への朝食に関するアンケート調査(教育委員会)	平成26年福岡市立高校4校への食に関するアンケート調査(保健福祉局)																									
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	作成時に比べ増加。 目標値は達成していないが近づいている。																										
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	%	調査者数																									
	22年度	77.2	448																								
	24年度	79.0	3395																								
	26年度	80.2	3376																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">■朝食をとらない理由</th> </tr> <tr> <th></th> <th>食欲がないから</th> <th>時間がないから</th> <th>太りたくないから</th> <th>いつも食べないから</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td style="text-align: center;">27.9%</td> <td style="text-align: center;">55.1%</td> <td style="text-align: center;">1.9%</td> <td style="text-align: center;">8.2%</td> <td style="text-align: center;">7.0%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td style="text-align: center;">26.9%</td> <td style="text-align: center;">66.9%</td> <td style="text-align: center;">2.3%</td> <td style="text-align: center;">14.1%</td> <td style="text-align: center;">12.0%</td> </tr> </tbody> </table>				■朝食をとらない理由							食欲がないから	時間がないから	太りたくないから	いつも食べないから	その他	24年度	27.9%	55.1%	1.9%	8.2%	7.0%	26年度	26.9%	66.9%	2.3%	14.1%	12.0%
■朝食をとらない理由																											
	食欲がないから	時間がないから	太りたくないから	いつも食べないから	その他																						
24年度	27.9%	55.1%	1.9%	8.2%	7.0%																						
26年度	26.9%	66.9%	2.3%	14.1%	12.0%																						
その他の理由例 ・朝ごはんを食べると体調が悪くなるから ・土日など、朝食と昼食が一緒になる																											

- ・高校生を対象とした料理教室(西区健康課)
- ・食育ポスター「栄養バランスの宝宝箱」を作成し、高校等に配布(西区健康課)
- ・食育啓発ポスター等を作成し、高校等に配布(城南区健康課)



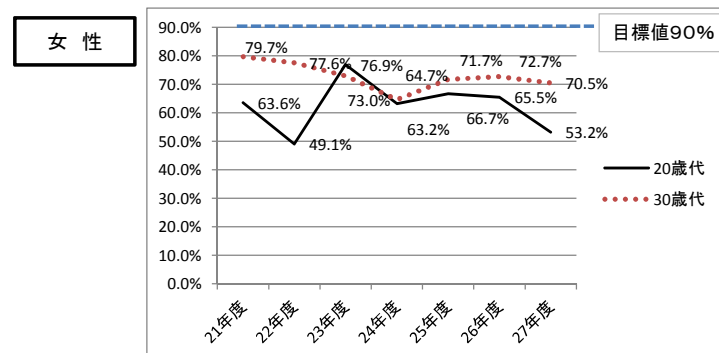
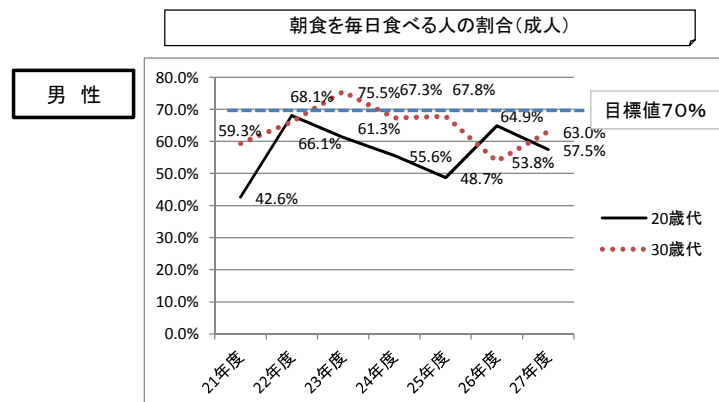
## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	朝食を毎日食べる人の割合 成人男性・女性	関係局	保健福祉局, 各区役所																																																
<b>指標の考え方</b>	健康的な生活リズムや生活習慣を確立するために、朝食を毎日食べる割合の増加を目標とする。																																																		
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																																																
	男性:20歳代42.6%, 30歳代59.3% 女性:20歳代63.6%, 30歳代79.7%	男性:20歳代57.5%, 30歳代63.0% 女性:20歳代53.2%, 30歳代70.5%	男性70% 女性90%																																																
出典	平成21年市政アンケート調査	平成27年市政アンケート調査																																																	
成果指標データの推移の分析 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	<p>・男性は、作成時と比べていずれも改善しているが、目標には達していない。</p> <p>・女性は、作成時と比べて悪くなっている。</p> <p>【参考: 国の現状値と目標】 20歳代・30歳代男性で朝食を欠食する割合(国民健康・栄養調査結果) 平成20年:28.7% 平成23年:32.4% 平成27年度(目標値):15%以下</p>																																																		
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<p>【設問】 あなたは、朝食を毎日食べていますか。→「ほとんど毎日食べている」を集計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>20歳代</th> <th>30歳代</th> <th>性別</th> <th>20歳代</th> <th>30歳代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>42.6%</td> <td>59.3%</td> <td>21年度</td> <td>63.6%</td> <td>79.7%</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>68.1%</td> <td>66.1%</td> <td>22年度</td> <td>49.1%</td> <td>77.6%</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>61.3%</td> <td>75.5%</td> <td>23年度</td> <td>76.9%</td> <td>73.0%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>55.6%</td> <td>67.3%</td> <td>24年度</td> <td>63.2%</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>48.7%</td> <td>67.8%</td> <td>25年度</td> <td>66.7%</td> <td>71.7%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>64.9%</td> <td>53.8%</td> <td>26年度</td> <td>65.5%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>57.5%</td> <td>63.0%</td> <td>27年度</td> <td>53.2%</td> <td>70.5%</td> </tr> </tbody> </table>			性別	20歳代	30歳代	性別	20歳代	30歳代	21年度	42.6%	59.3%	21年度	63.6%	79.7%	22年度	68.1%	66.1%	22年度	49.1%	77.6%	23年度	61.3%	75.5%	23年度	76.9%	73.0%	24年度	55.6%	67.3%	24年度	63.2%	64.7%	25年度	48.7%	67.8%	25年度	66.7%	71.7%	26年度	64.9%	53.8%	26年度	65.5%	72.7%	27年度	57.5%	63.0%	27年度	53.2%	70.5%
	性別	20歳代	30歳代	性別	20歳代	30歳代																																													
21年度	42.6%	59.3%	21年度	63.6%	79.7%																																														
22年度	68.1%	66.1%	22年度	49.1%	77.6%																																														
23年度	61.3%	75.5%	23年度	76.9%	73.0%																																														
24年度	55.6%	67.3%	24年度	63.2%	64.7%																																														
25年度	48.7%	67.8%	25年度	66.7%	71.7%																																														
26年度	64.9%	53.8%	26年度	65.5%	72.7%																																														
27年度	57.5%	63.0%	27年度	53.2%	70.5%																																														
	<p>■ほとんど食べない+1週間に1日程度食べる割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>20歳代</th> <th>30歳代</th> <th>性別</th> <th>20歳代</th> <th>30歳代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>12.9%</td> <td>5.7%</td> <td>23年度</td> <td>5.1%</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>22.2%</td> <td>16.3%</td> <td>24年度</td> <td>5.3%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>23.1%</td> <td>11.9%</td> <td>25年度</td> <td>6.7%</td> <td>15.1%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>18.9%</td> <td>23.1%</td> <td>26年度</td> <td>8.6%</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>17.5%</td> <td>20.4%</td> <td>27年度</td> <td>12.8%</td> <td>8.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H26若者の食に関するアンケート調査結果より</p> <p>●朝食を食べない理由 ・時間がない ・食べるより寝ていた ・食べたり準備するのが面倒</p> <p>●朝食を食べるようにするには ・早く寝る, よく眠る ・自分で用意する努力</p>			性別	20歳代	30歳代	性別	20歳代	30歳代	23年度	12.9%	5.7%	23年度	5.1%	11.1%	24年度	22.2%	16.3%	24年度	5.3%	8.3%	25年度	23.1%	11.9%	25年度	6.7%	15.1%	26年度	18.9%	23.1%	26年度	8.6%	15.6%	27年度	17.5%	20.4%	27年度	12.8%	8.2%												
性別	20歳代	30歳代	性別	20歳代	30歳代																																														
23年度	12.9%	5.7%	23年度	5.1%	11.1%																																														
24年度	22.2%	16.3%	24年度	5.3%	8.3%																																														
25年度	23.1%	11.9%	25年度	6.7%	15.1%																																														
26年度	18.9%	23.1%	26年度	8.6%	15.6%																																														
27年度	17.5%	20.4%	27年度	12.8%	8.2%																																														

### 【事業・施策名】

※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・学生料理教室(各区健康課 H23~24年度)(健康増進課 25年度)
- ・簡単朝食レシピの作成と普及(南区健康課 H24~)
- ・コンビニエンスストアで販売する朝食向け商品の開発(南区健康課 23年度)(健康増進課 25年度)
- ・健康づくりポイント事業「ふくおか健康マイレージ」(健康増進課 26年度)





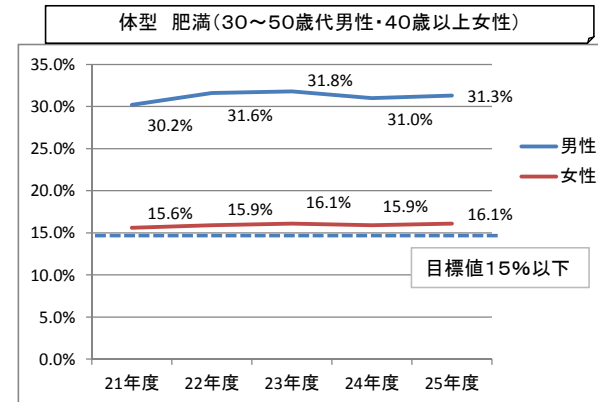
## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	体型 肥満 30～50歳代男性, 40歳以上女性	関係局 保健福祉局, 各区役所																			
<b>指標の考え方</b>	体重はライフステージを通して、日本人の主要な生活習慣病や健康状態との関連が強いいため、適正体重を維持している者の増加を目標とする。																				
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																		
	男性30.2%, 女性15.6%	男性31.3%, 女性16.1%	15%以下																		
出典	平成21年度健康診査結果, ヘルスアップスクール結果	平成25年度福岡市国保特定健診結果, よかドック30結果																			
成果指標データの推移の分析 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	男性, 女性ともに作成時と変化なし  【参考】国の指標(健康日本21第2次)平成34年度 20歳～60歳代男性の肥満の割合 28% 40歳～60歳代女性の肥満の割合 19%  【参考】平成24年国民健康栄養調査結果 30～50歳代男性の肥満 32.5% 40～74歳女性の肥満 22.4%																				
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>30.2%</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>31.6%</td> <td>15.9%</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>31.8%</td> <td>16.1%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>31.0%</td> <td>15.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>31.3%</td> <td>16.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">                     30歳代:ヘルスアップスクール, ヘルシースクール,                      40歳以上:ミニドック, 特定健診                 </p>				男性	女性	21年度	30.2%	15.6%	22年度	31.6%	15.9%	23年度	31.8%	16.1%	24年度	31.0%	15.9%	25年度	31.3%	16.1%
	男性	女性																			
21年度	30.2%	15.6%																			
22年度	31.6%	15.9%																			
23年度	31.8%	16.1%																			
24年度	31.0%	15.9%																			
25年度	31.3%	16.1%																			

### 【事業・施策名】

※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・よかドック30&ヘルシースクール(各区健康課 25年度まで)(健康づくりサポートセンター)
- ・地域食生活改善講習会(各区健康課)
- ・糖尿病予防セミナー, メタボリックシンドローム予防セミナー等生活習慣病に関する健康教育(各区地域保健福祉課)
- ・健診で食育「よかろーもんランチ」(城南区健康課 平成24年度～)
- ・ウエストリーグ～打倒!メタボ!!～(西区地域保健福祉課 平成25年度まで)
- ・「サザエさん通り」でウォーキング!における食育推進(早良区健康課 平成24年度)
- ・個別栄養相談(各区健康課)
- ・健康づくりポイント事業「ふくおか健康マイレージ」(健康増進課 26年度)

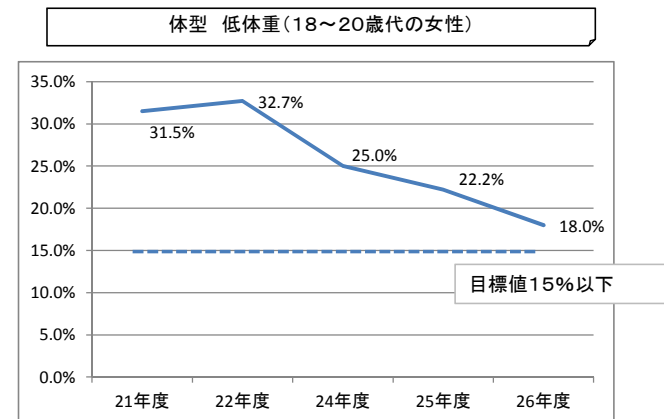


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	体型 低体重 18～20歳代女性	関係局 保健福祉局、各区役所																									
<b>指標の考え方</b>	体重はライフステージを通して、日本人の主要な生活習慣病や健康状態との関連が強いいため、適正体重を維持している者の増加を目標とする。																										
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																								
	31.5%	18.0%	15%以下																								
出典	平成21年度ヘルスアップスクール結果	平成26年度福岡市若者の食に関する実態調査結果																									
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	目標を達成していないが、目標値に近づいている。  【参考】国の指標（健康日本21第2次）平成34年度 20歳代女性のやせの者の割合 20% 【参考】平成24年国民健康・栄養調査結果 15～29歳女性のやせの者の割合 22.3%																										
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	それぞれの年度で調査方法が異なる <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="border: none;"></th> <th style="border: none;"></th> <th style="border: none;"></th> <th style="border: none;">調査数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">17年度</td> <td style="border: none;">29.2%</td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: middle;">} ヘルスアップスクール結果</td> <td style="border: none;">-</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">21年度</td> <td style="border: none;">31.5%</td> <td style="border: none;">103</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">22年度</td> <td style="border: none;">32.7%</td> <td style="border: none;">113</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">24年度</td> <td style="border: none;">25.0%</td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: middle;">} 商工会議所アンケート結果</td> <td style="border: none;">104</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">25年度</td> <td style="border: none;">22.2%</td> <td style="border: none;">87</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">26年度</td> <td style="border: none;">18.0%</td> <td style="border: none;">311</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">若者の食に関する実態調査(インターネット)</p> <p>【参考】自分の体格をどう思っているか(若者の食に関する実態調査より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やせ」の人の37.5%が「ふつう」、8.9%が「太っている・少し太っている」と思っている。</li> <li>・「ふつう」の人の59%が「太っている・少し太っている」と思っている。</li> </ul>						調査数	17年度	29.2%	} ヘルスアップスクール結果	-	21年度	31.5%	103	22年度	32.7%	113	24年度	25.0%	} 商工会議所アンケート結果	104	25年度	22.2%	87	26年度	18.0%	311
			調査数																								
17年度	29.2%	} ヘルスアップスクール結果	-																								
21年度	31.5%		103																								
22年度	32.7%		113																								
24年度	25.0%	} 商工会議所アンケート結果	104																								
25年度	22.2%		87																								
26年度	18.0%		311																								

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・若者を対象とした料理教室(健康増進課 H24～)(西区健康課 )
- ・学生料理教室(各区健康課 H23～24年度)(健康増進課 25年度)
- ・若者期食育推進ワーキング(南区健康課 H23)
- ・簡単朝食レシピの作成と普及(南区健康課 H24～ )

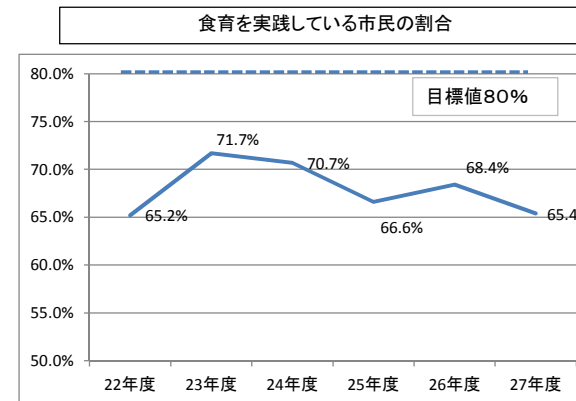


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	食育を実践している市民の割合	関係局	全関係局
<b>指標の考え方</b>	食育を推進し、成果をあげるためには、一人一人が食育の実践を心がけることが必要であるため、食育を実践している割合の増加を目標とする。		
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値
	65.2%	65.4%	80%
出典	平成22年市政アンケート調査	平成27年市政アンケート調査	
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	<p>・作成時より変化なく、目標値には達していない。</p> <p>(設問:あなたは何か上記のような問題等を解決するための食育を実践していますか。→積極的に実践している、できるだけ実践するよう(にしている)</p>		
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<b>■年次推移</b>		<b>■27年度詳細結果</b>
	22年度	65.2%	
	23年度	71.7%	20歳代 32.5% 59.5% 47.1%
	24年度	70.7%	30歳代 46.3% 62.3% 54.8%
	25年度	66.6%	40歳代 62.8% 71.9% 68.0%
	26年度	68.4%	50歳代 60.8% 85.4% 71.7%
	27年度	65.4%	60歳代 58.3% 83.4% 73.3%
			70歳以上 75.0% 80.7% 78.1%
		全体 55.9% 73.4% 65.4%	
<p>★食育を実践しない理由(27年度結果)</p> <p>1位 食事や食生活への関心はあるが、他のことで忙しいから(49.2%)</p> <p>2位 食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要(39.2%)</p> <p>3位 「食育」自体についてよく知らないから(28.6%)</p>			

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・食育月間パネル展(各区健康課)
- ・食育講演会(南区健康課)
- ・健康フェア(各区健康課)
- ・市役所食堂における毎月19日の健康弁当提供協力(健康増進課平成24年度～)
- ・どんたく広場での食育推進(博多区健康課 平成24年度～)(早良区健康課 平成24年度～)
- ・農林水産まつりでの食育推進コーナー(教育委員会)
- ・弁当の日(教育委員会)
- ・小中特別支援学校での「きょうの献立なあに」「ランチタイムズ」放送(教育委員会)
- ・出前講座「食育で明るい未来元気な福岡」(健康増進課)

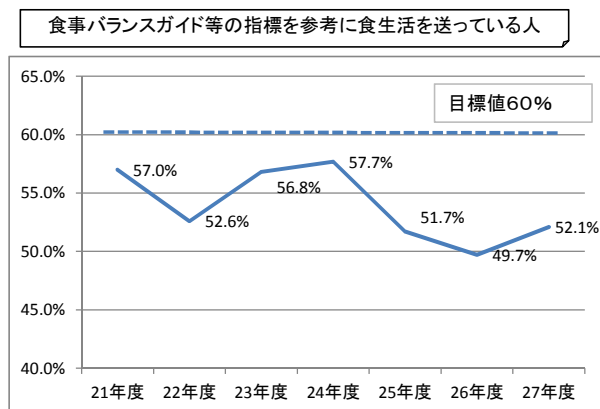


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	食事バランスガイド等の指標を参考に食生活を送っている人		関係局	保健福祉局、各区役所																																																																																			
<b>指標の考え方</b>	健全な食生活を実践するため、食事バランスガイドなど科学的根拠に基づいた指針等を活用し、栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加を目標とする。																																																																																						
成果指標データの推移	作成時の値		直近の値		目標値																																																																																		
	57.0%		52.1%		60%																																																																																		
出典	平成21年市政アンケート調査		平成27年市政アンケート調査																																																																																				
成果指標データの推移の分析	指標の計算方法 ・食育を実践していると回答した人に、指標等の活用について追加質問を行う。 食育を実践している人の割合 × 指標等を参考にしている人の割合 ・作成時より低下し、目標値から離れている。																																																																																						
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>57.0%</td> <td>52.6%</td> <td>56.8%</td> <td>57.7%</td> <td>51.7%</td> <td>49.7%</td> <td>52.1%</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>47.9%</td> <td>38.7%</td> <td>45.1%</td> <td>48.6%</td> <td>40.9%</td> <td>37.7%</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>64.7%</td> <td>64.1%</td> <td>66.2%</td> <td>65.3%</td> <td>62.4%</td> <td>58.8%</td> <td>61.2%</td> </tr> <tr> <td>20歳代</td> <td>34.3%</td> <td>38.5%</td> <td>30.0%</td> <td>38.5%</td> <td>33.3%</td> <td>35.8%</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>54.2%</td> <td>46.0%</td> <td>54.3%</td> <td>57.0%</td> <td>45.5%</td> <td>47.3%</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>53.8%</td> <td>49.5%</td> <td>51.5%</td> <td>56.4%</td> <td>46.3%</td> <td>43.6%</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>64.6%</td> <td>53.8%</td> <td>54.5%</td> <td>53.4%</td> <td>49.4%</td> <td>50.5%</td> <td>61.7%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>69.0%</td> <td>74.3%</td> <td>76.0%</td> <td>62.1%</td> <td>62.6%</td> <td>55.9%</td> <td>60.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>72.4%</td> <td>63.4%</td> <td>73.2%</td> <td>74.7%</td> <td>73.2%</td> <td>67.4%</td> <td>66.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・参考にしている割合は、男性より女性が多く、年齢が高くなるほど多くなる。</p>								21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	全体	57.0%	52.6%	56.8%	57.7%	51.7%	49.7%	52.1%	男性	47.9%	38.7%	45.1%	48.6%	40.9%	37.7%	41.4%	女性	64.7%	64.1%	66.2%	65.3%	62.4%	58.8%	61.2%	20歳代	34.3%	38.5%	30.0%	38.5%	33.3%	35.8%	34.5%	30歳代	54.2%	46.0%	54.3%	57.0%	45.5%	47.3%	38.9%	40歳代	53.8%	49.5%	51.5%	56.4%	46.3%	43.6%	51.0%	50歳代	64.6%	53.8%	54.5%	53.4%	49.4%	50.5%	61.7%	60歳代	69.0%	74.3%	76.0%	62.1%	62.6%	55.9%	60.1%	70歳以上	72.4%	63.4%	73.2%	74.7%	73.2%	67.4%	66.4%
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度																																																																																
全体	57.0%	52.6%	56.8%	57.7%	51.7%	49.7%	52.1%																																																																																
男性	47.9%	38.7%	45.1%	48.6%	40.9%	37.7%	41.4%																																																																																
女性	64.7%	64.1%	66.2%	65.3%	62.4%	58.8%	61.2%																																																																																
20歳代	34.3%	38.5%	30.0%	38.5%	33.3%	35.8%	34.5%																																																																																
30歳代	54.2%	46.0%	54.3%	57.0%	45.5%	47.3%	38.9%																																																																																
40歳代	53.8%	49.5%	51.5%	56.4%	46.3%	43.6%	51.0%																																																																																
50歳代	64.6%	53.8%	54.5%	53.4%	49.4%	50.5%	61.7%																																																																																
60歳代	69.0%	74.3%	76.0%	62.1%	62.6%	55.9%	60.1%																																																																																
70歳以上	72.4%	63.4%	73.2%	74.7%	73.2%	67.4%	66.4%																																																																																

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・地域食生活改善講習会(各区健康課)
- ・食生活改善推進員養成教室(各区健康課)
- ・食生活改善推進員研修会(各区健康課)
- ・栄養成分表示の店登録事業(健康増進課・各区健康課)
- ・健康食パーティー(各区健康課)
- ・食育リーダー養成(博多区健康課 平成24年度～)
  
- ・こどもの笑顔展での普及(子ども未来局保育所指導課)
  
- ・福岡大学学生食堂における食事バランスガイドキャンペーン(城南区健康課25年度)
  
- ・ウェルネスレストラン食育事業(健康づくり財団 平成24年度まで)
  
- ・デパートにおける食事バランスガイド体験(健康づくり財団 平成23年度)
- ・健診で食育「ヘルシー和カフェ」(城南区健康課 25年度～)
- ・いきいきシニア応援事業(南区健康課 25年度～)

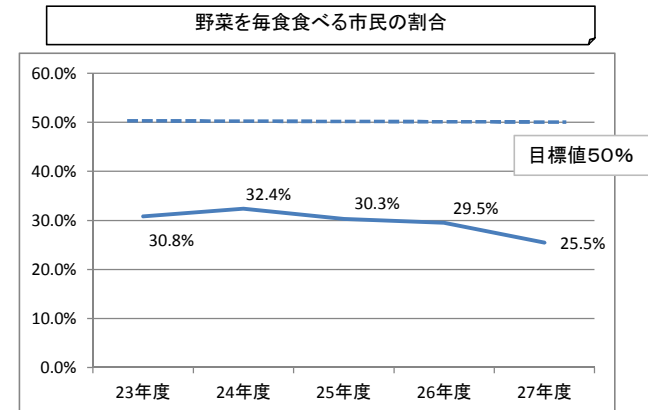


## 成果指標別 分析シート

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b> 野菜を毎食食べる市民の割合	関係局 保健福祉局、各区役所			
<b>指標の考え方</b>	適切な量と質の食事は、生活習慣病予防の基本の一つである。中でも野菜の摂取量の増加は、体重コントロール、循環器疾患、2型糖尿病の一次予防に効果があることが報告されているが、福岡市においては野菜摂取頻度が低いことから、野菜摂取量の増加(摂取頻度の増加)を目標とする。			
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値	
	-	25.5%	50%	
出典	データなし	平成27年市政アンケート		
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	<p>23年度以降26年度までは、30%前後で推移していたが、27年度は5年間で最も低い割合となった。</p> <p>【設問】あなたは、一日の食事で野菜をどのくらいの頻度で食べていますか。</p> <p>1 ほとんどすべての食事で食べている    2 1日に2回は食べている 3 1日に1回は食べている    4 ほとんど食べていない</p>			
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	年次推移	23年度	30.8%	
		24年度	32.4%	
		25年度	30.3%	
		26年度	29.5%	
		27年度	25.5%	
	26年度詳細結果	27年度詳細結果		
		男性	女性	計
	20歳代	16.2%	15.5%	15.8%
	30歳代	21.2%	18.2%	19.4%
	40歳代	26.1%	26.6%	26.4%
50歳代	29.8%	50.0%	39.6%	
60歳代	26.5%	50.0%	37.6%	
70歳以上	38.2%	46.6%	43.5%	
全体	26.0%	32.2%	29.5%	
	男性	女性	計	
20歳代	17.5%	14.9%	16.1%	
30歳代	9.3%	23.0%	16.5%	
40歳代	27.9%	22.8%	25.0%	
50歳代	17.6%	14.6%	16.3%	
60歳代	25.0%	46.3%	37.8%	
70歳以上	38.6%	46.2%	42.7%	
全体	22.0%	28.5%	25.5%	
27年度は30歳代男性及び50歳代男女で大幅に低下。 調査時期に野菜の価格が(天候不順のため)高騰していたのも要因と考えられる。				

- ・健康食育サポート店(各区健康課)
- ・野菜レシビコンテスト(健康増進課 平成25、26年度)
- ・地域食生活改善講習会(各区健康課)
- ・ショッピングセンターでの食育イベント(健康増進課 平成25年度～)
- ・健康フェア、健康食パーティー(各区健康課)
- ・食育月間イベント(野菜の計量など)(東区健康課)
- ・福岡市民の歯を守る集いでの野菜の計量体験(健康増進課 平成24年度～)
- ・福岡市健康づくり月間での野菜の計量体験(健康増進課 平成23年度)
- ・地下鉄フェスタでの野菜の計量体験(早良区健康課 平成23年度)
- ・健康づくりポイント事業「ふくおか健康マイレージ」(健康増進課 26年度)

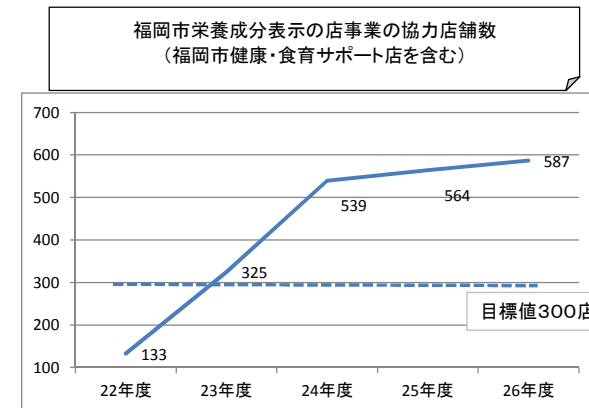


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	福岡市栄養成分表示の店事業の協力店舗数(福岡市健康・食育サポート店を含む)		関係局	保健福祉局, 各区役所																						
<b>指標の考え方</b>	飲食店等において栄養成分表示がされることは、食の選択の幅が広がることになり、様々な条件により食生活の改善が実行しにくい層にも大きな影響をもたらすことが期待できるため、協力店の増加を目標とする。																									
成果指標データの推移	作成時の値		直近の値		目標値																					
	133店舗		587店舗		300店																					
	出典	平成22年8月保健福祉局調べ	平成26年度保健福祉局調べ																							
成果指標データの推移の分析	目標値を達成している																									
(作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	22年度	133	23年度	325	24年度	539																				
	25年度	564	26年度	587																						
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<p>【栄養成分表示の店】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度、24年度に栄養成分表示の店が急増したのは、コンビニ(ローソン、セブンイレブン)の登録による。</li> <li>・25年度、26年度の新規登録店はコンビニの新規店舗</li> </ul> <p>【健康・食育サポート店】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・21年度、22年度は、外食チェーン店(リンガーハット、博多華味鳥、めんちゃん亭など)で登録店を増やした。</li> <li>・24年度、25年度は、健康づくりチャレンジ事業にあわせて、健康・食育サポート店の登録店を増やす取り組みを行った。</li> </ul> <p>【参考】新規登録店舗数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">栄養成分表示の店</th> <th style="text-align: center;">健康・食育サポート店</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">47</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td style="text-align: center;">154</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td style="text-align: center;">203</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>						栄養成分表示の店	健康・食育サポート店	21年度	2	35	22年度	4	47	23年度	154	10	24年度	203	26	25年度	60	14	26年度	40	1
	栄養成分表示の店	健康・食育サポート店																								
21年度	2	35																								
22年度	4	47																								
23年度	154	10																								
24年度	203	26																								
25年度	60	14																								
26年度	40	1																								

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・ホームページでの事業紹介(健康増進課)
- ・食品衛生講習会での事業紹介(各区健康課)
- ・健康づくりチャレンジ事業のサポート店登録を利用(健康増進課 平成24、25年度)

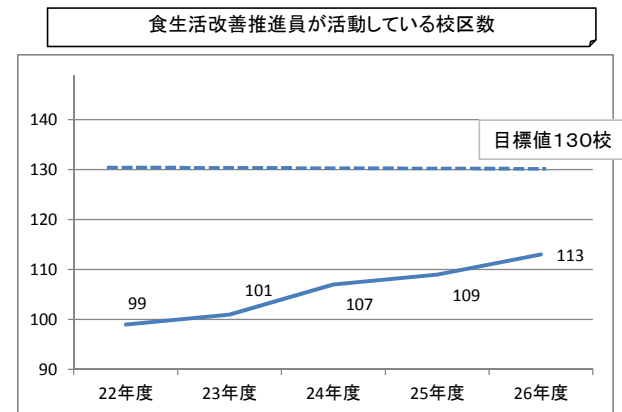


## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b>	食生活改善推進員が活動している校区数			<b>関係局</b>	保健福祉局、各区役所		
<b>指標の考え方</b>	食生活の改善のための活動その他の食育の推進に関する活動に携わるボランティア(食生活改善推進員)が果たしている役割の重要性にかんがみ、推進員が活動している校区数の増加を目標とする。						
成果指標データの推移	作成時の値		直近の値		目標値		
	99校区		113校区		130校区		
出典	平成22年度保健福祉局調べ		平成26年度保健福祉局調べ				
成果指標データの推移の分析 <small>(作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)</small>	<p>作成時より増加しているが、目標には達成していない。</p> <p>※活動校区とは 推進員が在籍する校区であって、校区住民を対象に、校区内の会場において、調理実習を含む普及活動を行った校区</p>						
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	■年次推移						
	22年度	99					
	23年度	101					
	24年度	107					
	25年度	109					
	26年度	113					
	■26年度の状況						
		校区数	会員在籍区	活動校区数			
	東区	29	26	21			
	博多区※	22	21	20 ※博多小学校区、住吉小学校区は統合以前の旧校区			
中央区※※	14	14	13 ※※舞鶴小学校区は統合以前の旧校区				
南区	25	22	16				
城南区	11	11	11				
早良区	25	22	19				
西区	23	15	13				
計	149	131	113				

- ・食生活改善推進員養成教室の開催回数を、年間7回から8回に増加。
- ・食生活改善推進員協議会の活動支援(各区健康課、健康増進課)

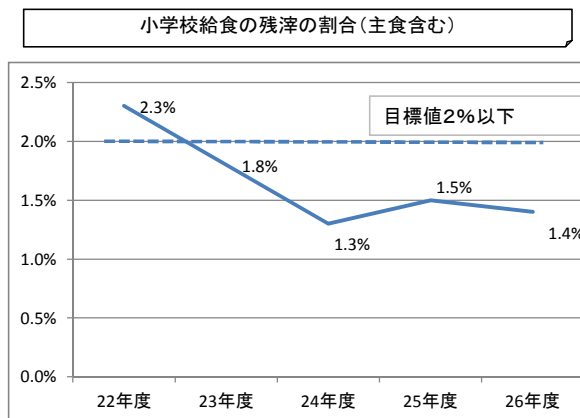


## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b> 小学校給食の残滓の割合(主食を含む)	関係局 教育委員会												
<b>指標の考え方</b>	児童・生徒の心身の健やかな成長のためには、学校給食を適切に食べることが重要であること、自然の恩恵、生産者への感謝の念の涵養のため、残さいの割合の減少(完食率の向上)を目標とする。												
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値										
	2.3%	1.4%											
出典	平成22年教育委員会調べ	平成26年度教育委員会調べ	2%以下										
成果指標データの推移の分析 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)		23年度以降毎年目標を達成している											
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<b>■年次推移</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>22年度</td><td>2.3%</td></tr> <tr><td>23年度</td><td>1.8%</td></tr> <tr><td>24年度</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>25年度</td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>1.4%</td></tr> </table>			22年度	2.3%	23年度	1.8%	24年度	1.3%	25年度	1.5%	26年度	1.4%
	22年度	2.3%											
23年度	1.8%												
24年度	1.3%												
25年度	1.5%												
26年度	1.4%												

- ・学校給食週間(教育委員会)
- ・学校給食試食会(教育委員会)
- ・栄養教諭や学校栄養職員による指導(教育委員会)
- ・学童菜園事業(農林水産局)





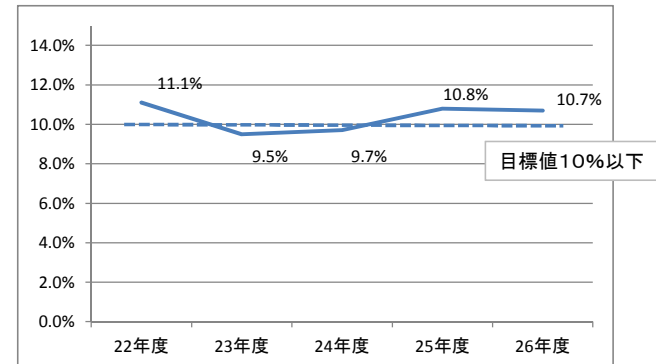
## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・学校給食週間(教育委員会)
- ・学校給食試食会(教育委員会)
- ・学校給食コンテスト(教育委員会)

<b>指標</b> 中学校給食の残滓の割合(主食を含む)	関係局 教育委員会												
<b>指標の考え方</b>	児童・生徒の心身の健やかな成長のためには、学校給食を適切に食べることが重要であること、自然の恩恵、生産者への感謝の念の涵養のため、残さいの割合の減少(完食率の向上)を目標とする。												
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値										
	11.1%	10.7%	10%以下										
出典	平成22年教育委員会調べ	平成26年度教育委員会調べ											
		栄養教諭等配置校生徒を対象に調査											
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	23、24年度は目標を達成したが、25年度・26年度は達成できなかった。												
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<p>■年次推移</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>22年度</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>23年度</td><td>9.5%</td></tr> <tr><td>24年度</td><td>9.7%</td></tr> <tr><td>25年度</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>10.7%</td></tr> </table>			22年度	11.1%	23年度	9.5%	24年度	9.7%	25年度	10.8%	26年度	10.7%
22年度	11.1%												
23年度	9.5%												
24年度	9.7%												
25年度	10.8%												
26年度	10.7%												

中学校給食の残滓の割合(主食含む)



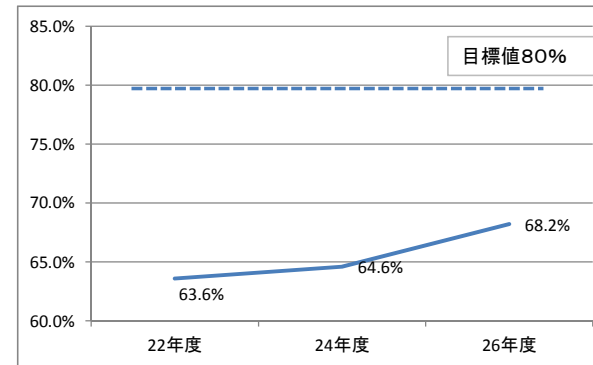
## 成果指標別 分析シート

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

<b>指標</b>	バランスのよい食事を摂ることを心がけている高校生の割合	<b>関係局</b>	教育委員会						
<b>指標の考え方</b>	一般的に食に対する関心が低く、食の乱れが出てくる世代である高校時代から、健全な食習慣の実践に対する意識を持つことは、その後の生活においてもよい影響を与えるため、目標とする。								
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値						
	63.6%	68.2%	80%						
出典	平成22年福岡市立高校4校への朝食に関するアンケート調査(教育委員会)	平成26年福岡市立高校4校への食に関するアンケート調査(保健福祉局)							
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	<p>作成時に比べ増加。 目標値は達成していないが近づいている。</p> <p>【設問】</p> <p>&lt;作成時&gt; バランスのよい食事を実践するように気を付けていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日気を付けている</li> <li>・時々気を付けている</li> <li>・あまり気を付けていない</li> <li>・全く気を付けていない</li> </ul> <p style="margin-left: 100px;">} 「心がけている」割合として集計</p> <p>&lt;直近&gt; バランスのよい食事をとる事を心がけていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心がけている</li> <li>・心がけていない</li> </ul>								
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">22年度</td> <td style="padding: 2px 5px;">63.6%</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">24年度</td> <td style="padding: 2px 5px;">64.6%</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">26年度</td> <td style="padding: 2px 5px;">68.2%</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">参考: 18年度 考えない割合 7.3%</p>			22年度	63.6%	24年度	64.6%	26年度	68.2%
22年度	63.6%								
24年度	64.6%								
26年度	68.2%								

- ・高校生を対象とした料理教室(西区健康課)
- ・食育ポスター「栄養バランスの宝石箱」を作成し、高校等に配布(西区健康課)
- ・食育啓発ポスター等を作成し、高校等に配布(城南区健康課)

バランスのよい食事を摂ることを心がけている高校生の割合

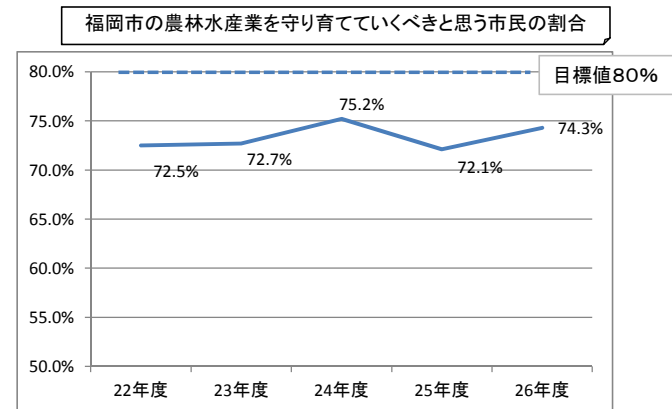


## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	福岡市の農林水産業を守り育てていくべきと思う市民の割合		<b>関係局</b>	農林水産局																					
<b>指標の考え方</b>	豊かな市民生活を支える活力ある農業・農村等の振興には市民の関心や理解を深めることが不可欠なため、福岡市の農林水産業を守り育てるべきと思う市民の割合の増加を目標とする。(福岡市農業総合計画指標)																								
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																						
	72.5%	74.3%	80%																						
出典	平成22年福岡市新・基本計画の成果指標に関する意識調査	平成26年福岡市新・基本計画の成果指標に関する意識調査																							
成果指標データの推移の分析 <small>(作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)</small>	<p style="text-align: center;">作成時とほぼ変化なし</p> <p><b>【設問】</b> いろいろなことを総合して、福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 守り育てていくべき →「守り育てていくべき」として集計</li> <li>2. どちらかといえば守り育てていくべき</li> <li>3. どちらかといえば守り育てていくべきではない</li> <li>4. 守り育てていくべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>																								
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">18年度</td> <td style="padding: 2px;">68.4%</td> <td style="padding: 2px;">一次計画作成時</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">20年度</td> <td style="padding: 2px;">70.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">22年度</td> <td style="padding: 2px;">72.5%</td> <td style="padding: 2px;">調査者数 2,249名</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">23年度</td> <td style="padding: 2px;">72.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">24年度</td> <td style="padding: 2px;">75.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">25年度</td> <td style="padding: 2px;">72.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">26年度</td> <td style="padding: 2px;">74.3%</td> <td style="padding: 2px;">調査者数 2,258名</td> </tr> </table>				18年度	68.4%	一次計画作成時	20年度	70.4%		22年度	72.5%	調査者数 2,249名	23年度	72.7%		24年度	75.2%		25年度	72.1%		26年度	74.3%	調査者数 2,258名
18年度	68.4%	一次計画作成時																							
20年度	70.4%																								
22年度	72.5%	調査者数 2,249名																							
23年度	72.7%																								
24年度	75.2%																								
25年度	72.1%																								
26年度	74.3%	調査者数 2,258名																							

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

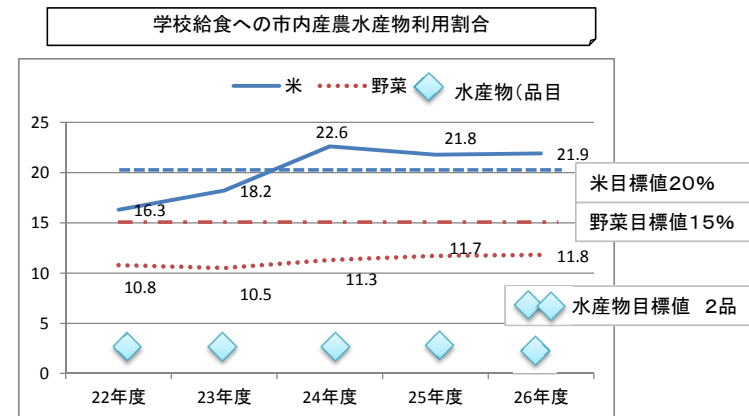
- ・体験漁業(水産振興課)
- ・酪農体験スクール(農業振興課)
- ・酪農体験ツアー(農業振興課)
- ・農業したいけん事業(農業振興課)
- ・地域の魅力発信事業 勝馬かしわ飯祭り (農業振興課)
- ・朝市・夕市等への直販事業への支援(水産振興課)
- ・玄海うまかもん食育事業(水産振興課)
- ・中央卸売市場料理教室(市場課)
- ・食と農の体験教室(農業振興課)



## 成果指標別 分析シート

**【事業・施策名】** ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施  
 ・市内産農産物学校給食活用推進事業(農業振興課)

<b>指標</b>	学校給食への市内産農水産物利用割合 (重量ベース)米・野菜・水産物			<b>関係局</b>	教育委員会, 農林水産局																								
<b>指標の考え方</b>	学校給食に地場産業を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の自然や文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する感謝の念を育むうえで重要であるほか、地産地消の有効な手段であるため、給食における市内産物の利用割合の増加を目標とする。																												
成果指標データの推移	作成時の値		直近の値		目標値																								
	米16.3%, 野菜10.8%, 水産物1品目		米21.9%, 野菜11.8%, 水産物1品目		米20% 野菜15% 水産物2品目																								
	出典	平成22年農林水産局調べ	平成26年農林水産局調べ																										
成果指標データの推移の分析  (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	米は目標値を達成している。 野菜は達成していないが、目標に近づきつつある。 水産物は20年度以降増えていない。																												
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>米</th> <th>野菜</th> <th>水産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>16.3</td> <td>10.8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>18.2</td> <td>10.5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>22.6</td> <td>11.3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>21.8</td> <td>11.7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>21.9</td> <td>11.8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						米	野菜	水産物	22年度	16.3	10.8	1	23年度	18.2	10.5	1	24年度	22.6	11.3	1	25年度	21.8	11.7	1	26年度	21.9	11.8	1
	米	野菜	水産物																										
22年度	16.3	10.8	1																										
23年度	18.2	10.5	1																										
24年度	22.6	11.3	1																										
25年度	21.8	11.7	1																										
26年度	21.9	11.8	1																										



## 成果指標別 分析シート

<b>指標</b>	食に対して「安心」「どちらかと言えば安心」を感じる市民の割合	<b>関係局</b>	市民局, 保健福祉局, 各区役所																
<b>指標の考え方</b>	健全な食生活の実践のためには、食品に関するリスクなど消費者の知識と理解を深める取り組みを行い、その結果として市民が信頼感を持って食を選択することができるようになることが必要であると考えられるため、食に対して「安心」「どちらかと言えば安心」と感じる市民の割合の増加を目標とする。																		
成果指標データの推移	作成時の値	直近の値	目標値																
	46.4%	62.1%																	
出典	平成22年市政アンケート調査	平成27年市政アンケート調査	50%																
成果指標データの推移の分析 (作成時の値に対してどのような動きになっているか。現時点での目標の達成状況。)	作成時より改善し、目標を超えている。																		
その他分析に係るコメントやデータに関する詳細分析	<table border="1"> <tr><td>22年度</td><td>46.4%</td></tr> <tr><td>23年度</td><td>55.6%</td></tr> <tr><td>24年度</td><td>64.7%</td></tr> <tr><td>25年度</td><td>64.7%</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>61.0%</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>62.1%</td></tr> </table> <p>参考: 不安、やや不安を感じる割合</p> <table border="1"> <tr><td>18年度</td><td>42.0%</td></tr> <tr><td>21年度</td><td>50.2%</td></tr> </table>			22年度	46.4%	23年度	55.6%	24年度	64.7%	25年度	64.7%	26年度	61.0%	27年度	62.1%	18年度	42.0%	21年度	50.2%
22年度	46.4%																		
23年度	55.6%																		
24年度	64.7%																		
25年度	64.7%																		
26年度	61.0%																		
27年度	62.1%																		
18年度	42.0%																		
21年度	50.2%																		

【事業・施策名】 ※年度を記載していない事業等は、23年度から継続して実施

- ・くらしの実験講座(市民局消費生活センター)
- ・消費生活情報誌「くらしのEYE」発行(市民局消費生活センター)
- ・食品取扱施設や給食施設への立ち入り検査(各区衛生課)
- ・市場(食品衛生検査所)見学(食品衛生検査所)
- ・暮らし上手のヒントの発行(食品安全推進課)
- ・市内製造所や販売店での食品の収去検査(各区衛生課)
- ・社員のための健康情報定期便(博多区衛生課)
- ・検査で学ぶ食品講座(城南区衛生課)
- ・市政だより等による情報提供(中央区衛生課)
- ・食の安全安心推進事業(南区衛生課)
- ・食の安全安心探検隊(博多区衛生課)
- ・食品衛生月間行事(各区衛生課)
- ・食品工場等見学・交流会(東区衛生課)
- ・くらしのステップアップセミナー(各区衛生課)
- ・健康フェアでの講習会(各区衛生課)
- ・ホームページによる情報発信
- ・食の安全安心スクール(西区衛生課)
- ・食肉の生食の危険性を伝えるパンフレットの作成(中央区衛生課)
- ・消費生活フェア(市民局消費生活センター)
- ・大学生向け食中毒防止啓発(西区衛生課 26年度)
- ・鶏肉を安全に美味しく食べよう(早良区衛生課 26年度)

食に対して「安心」「どちらかといえば安心」を感じる市民の割合

